

CAMILO SESTO

DE MADRID CON AMOR

Chapter

- 1 ロマンサーこの愛に生きて
ACOMPANAME
- 2 心がわり
QUIEN LO DIRIA
- 3 夜空に願いを
MIENTRAS ME SIGAS NECESITANDO
- 4 サンバ
SAMBA
- 5 遅かれ早かれ
TARDE O TEMPRANO
- 6 ピロードと石
TERCIOPELO Y PIEDRA
- 7 バルドナメ(許しておくれ)
PERDONAME
- 8 白い鳩よ
PALOMA BLANCA, PALOMA MIA
- 9 ティ・アモ
TE AMO
- 10 君がどこにいても
EL AMOR DE MI VIDA
- 11 メドレー
POTPOURRI (MEDLEY)
過ぎ去りし君
ALGO DE MI
～愛ゆえに
VIVIR ASI ES MORIR DE AMOR
～助けて下さい
AYUDAME
～誓い
JAMAS
～愛することは…
AMOR, AMAR
～全てが無駄に
TODO POR NADA
- 12 愛はまきまぐれ
AMOR DE MUJER

All songs composed by Camilo Blanes Running Time:54min.
●このディスクは、チャプターサー操作で希望するチャプターの最初の面を正確に呼び出すことができます。
●チャプターサー操作については、お手持りのプレーヤーの取扱説明書をご参照ください。

DIRECTOR ▶ KUNIO FUJITA
CAMERA ▶ MITSUO NAKAJIMA
V.E ▶ KIMIO HAYASAKA
RECORDING ENGINEER ▶ JUNICHI SUZUKI
ESTUDIOS KIRIOS, S.A.

A.D. ▶ TOSHIAKI ITAKO
PRODUCER ▶ YUZO MURATA
SHUNZABURO ISHIHATA

カミロ・セスト

永田 文夫

本国スペインはもとより、ラテン・アメリカ諸国でも圧倒的な人気を博しているスパニッシュ・ポップスのシンガー・ソングライター、カミロ・セストのレーザーディスクが、いよいよ日本でも発売されることになりました。ファンの方々には、まさに待望のアルバムでしょう。この10年間、NHK・FM放送などを通じて、折りにふれて彼の歌をご紹介して来た私にとっても、こんなうれしいことはありません。スケールの大きいロマンティックなメロディー、情熱のこもったパワフルな歌声、そしてエキゾティシズムのただようフィーリング——カミロ・セストの作り出す魅力的な音楽世界は、あらゆる女性を熱狂させ、すべての男性にかぎらない共感をおぼえさせることでしょう。

フリオ・イグレスィアスが大成を取ったこともあって、近年わが国でも、スペインのポピュラー・ソングに対する関心が、にわかに高まってきました。かつては民謡ふうの歌曲やフラメンコぐらしか世に知られていなかったこの国の音楽も、時代とともに移り変わり、今日では、伝統の味を残しながらも、インターナショナルな流行のスタイルをとり入れた新しいタイプの歌が、広く大衆に愛されるようになりました。そして、こういったジャンルの人気歌手の中でも、歌唱力も技量で、ソングライターとしての才能もゆたかな、すばらしいアーティストが、このカミロ・セストというわけです。

彼を含めて、ラファエル、フリオ・イグレスィアの3人は、私は“スパニッシュ・ポップスのご三家”と呼んでいます。このうちラファエルは最も早く、1960年代の後半に名を挙げ、73年以降3度も日本公演を行ないましたが、その後はいささか低調気味でした。1968年に歌手に転向したフリオは、70年代の中ごろからめざましい進出ぶりを示し、ついに世界的なスーパースターになったのはご存じの通りです。しかし、活躍の舞台がおもに外国だったことがハンデとなって、母国での評価は、必ずしも芳しいものばかりとはかぎりませんでした。その点、カミロ・セストはデビュー以来現在まで、スペインやラテン諸国でコンスタントな名声を保ち、実力派のナンバー・ワンとみなされています。これまでに発表したLPが19枚。そのそれぞれが100万枚を超すセールスを挙げて、1枚から何曲かのヒットが生まれ、総売り上げ枚数は全世界で2000万枚以上を突破…という数字が、何よりも雄弁に、彼の堅実な歩みを物語ります。策を弄せず流行におもねらず、つねに率直にありのままの自分を表現する、第一級の天才歌手と申せましょう。

彼——カミロ・セストは、本名をカミロ・フランコといひ、1946年9月16日、スペインはアリカンテ地方のアルコイというところに生まれました。小さいころはかなり臆白だったようで、2度も退校処分を受けましたが、2度とも学校のコーラスに必要という理由で復学を許されました。当時から、それほどごみごみな声と歌唱力を持っていたわけでした。

やがて彼は、「ロス・ダイソン」というグループに加わってマドリッドへ行き、テレビ番組に出演しました。このことが病みつきとなって、歌で身を立ようという決心し、両親を説得してマドリッドへ出て来たのは1965年10月のこと、折りしも、ラファエルがスターダムにのし上がった直後であり、フリオ・イグレスィアはまだうたっていませんでした。

マドリッドでのカミロ・セストは、まず「ロス・ポティネス」というグループに入って、ソロ・ヴォーカルを担当しました。ここに1968年まで在籍したのち、兵役に従事。除隊後も仲間とともに、当時の人気グループ「ロス・プリンコス」のヒット・ナンバーなどをうたっていました。

やがて1970年、チャンスが訪れます。グループ時代に知り合ったプロデューサーのファン・バルド(彼も現在シンガー・ソングライターとして、スペイン第一級の人気を博しています)にみとめられてアリオラ・レコードと契約、そのプロデュースのもとに、ソロ歌手としての初のシングル盤がリリースされました。A面はブラームスの子守歌をバルドがアレンジしたもの、B面はカミロの自作でしたが、反響はほとんどありませんでした。

それにもめげず、バルドは次々にカミロ・セストのレコードをプロデュースしました。第2弾はバルド作の「声高らかに」第3弾はカミロ作の「アイ・アイ・ロセッタ」など…。こうして、少しずつ識者の注目を集めたのち、1972年、4枚目のシングル盤として発表された「過ぎ去りし君」がナンバー・ワン・ヒットとなり、カミロ・セストの人気は爆発します。同年には、これを、タイトル・ナンバーにした初のLPもリリースされて、不動の名声を確立しました。以降「愛することは…」(1972年)「もっと何か」(73年)…と、快進撃がつづきます。1974年には、「私を助けて」「あなたが私の恋人ならば」などが大ヒットして、完全にラファエルを追いおとし、ラテン・アメリカ諸国でもトップ・スターになりました。この年、ロック・オペラ「ジーザス・クライスト・スーパースター」のスペイン語版が作られ、翌75年の上演でも主役のキリストを演じて、スペインのショー・ビジネス界における金字塔を築きました。

その後カミロ・セストのめざましい活躍ぶりを、いちいちしるしてはキリがありません。ラテン・アメリカはもとより、アメリカ合衆国でも成功を収めました。79年には全世界におけるレコード売り上げが1300万枚を超えて、プラチナ・ディスクを贈られました。最近では1983年春、全米ツアーを行なって、ロサンゼルスユニバーサル・アンフィ・シアターをはじめ、すべてのコンサート会場をソールド・アウトにし、フリオ・イグレスィアよりひと足先に、アメリカを征服したということでした。

そのカミロ・セストは、1983年の暮れ、おしのびでひょっこりと、初めて日本を訪れました。背の高いハンサムな好男子でした。これほどのビッグ・スターでありながら、いささかの気取りもなく、しっかりと自分を見つめた話し方にも、ナイーブな人がらがうかがえて、まことに好ましいかぎりでした。

「音楽は、ぼくの人生の証明なんだ。」…と、彼は言います。「世界中どこへ行ってもぼくは自分自身をありのままに表現するだけ…。その姿勢は、成功する前も現在も変わっていない。ぼくはいつも、大地に足をつけて生きて来た。」…と。

そして、「ぼくの音楽は、ロマンティックなだけじゃなく、真実の中から生まれたストーリーをうたっている。だから、一番重要なのは、歌詞だと思う。」…とも。

「初めころはロックもやったし、いろいろなものから影響を受けた。自分なりの新しい音楽を作り出しているつもりだが、節まわしの中にはやはり生まれ故郷アリカンテ地方のモーロふうのコブシが出て来る。それがぼくの特徴かも知れないね。」…と、気さくにヒット曲のメロディーを、ロずさんでくれるカミロでした。

ロマンスへの愛に生きて

ACOMPANAME

つまらない議論はもう終りにしよう
泣いて出て行くよりも
僕を怒らせようとしても
僕の名前をはかれないから
空に向かって叫ぶくらいなら
もう一度語り合おう
君にくちづけ、もとのふたりにどろう
僕への冷たい仕打ちや
一時の気の遣いは
僕にはどうでもいいこと

※僕と一緒に歩いて
ふたりで愛をしよう
僕と一緒に歩いて
狂ったように愛し合おう、ふたりだけで

そばにいて、僕に微笑んでおくれ
君の心を僕で満たそう
ふたり休ませよう
愛を確かめよう

※リピート

心がわり

QUIEN LO DIRIA

なぜこんなに愛してしまったのだろう
君は僕を憎んでいるのに
いつまでこんな恋を繰り返すのだろう
まるで僕が恋しいように
君から偽りの愛をよそわられるだけ
なぜこんなに苦しんでいるのだろう
君はただ微笑んでいるだけなのに
君は何も語らうともせず
僕は愛の答えをさがし続ける
今の君にとって僕は何なのか...

※誰もわかってくれない
君がこんなに変わってしまったと
誰もわかってくれない
大層な悪魔へ、恋人よ
角笛があるのなら
僕か悪魔の心
君の心もろを知って
僕は君の心にもひびきこす

僕にこんなに閉じこめられて
ただ恨んでいるだけ
君は何もわからうともせず
わがままを繰り返す
そんなつらい恋の想いに
僕は苦しむだけ

※リピート

夜空に願いを

MIENTRAS ME SIGAS NECESITANDO

夜空に願う
君がいつまでも変わらぬようにと
君がくれた雫なる祈り
愛の祈り 祈願の祈り
人形とう川を
君とともに流れない
愛をありがたう
君は静かに 目を輝かす
※君が何処に
僕に君以外の声は聞こえない
僕の手すべてを握りよう
僕は君なしでは生きられない
だから 君もそう望んでほしい

僕が分別のある男であっても
思いは変わらない
知らない間に君を傷つけてしまったなら
お願いた 許しておくれ

※リピート

君の心のどこかに
僕の居場所を作っておくれ
君の心の片隅でいいから
君とのひとときが僕にはすべてなのだから

※リピート

製作/発売元・レーザーディスク株式会社 販売元・バイオニア株式会社

© 1989 LASERDISC CORPORATION. MANUFACTURED BY LASERDISC CORPORATION, DISTRIBUTED BY PIONEER ELECTRONIC CORPORATION, JAPAN. PRINTED IN JAPAN

サンバ

SAMBA

互いに深くは知らないけれど
久しぶりに感じる この不思議なときめき
君からつたる この感動
※君の身体と僕の身体
互いのために創られたように
束の魂 激しく動く

愛のリズムで サンバ
狂恋しながら サンバ
くるおしいほど...

二人のあいだは誰も 引き裂くことはできない
情にうた 彼のように
歌に乗って行く

二人は生まれる前から 編まれていた
束の魂 激しく動いて
愛のリズムで サンバ
狂恋しながら サンバ

※リピート

遅かれ早かれ

TARDE O TEMPRANO

孤独感に打ちひしがれ、愛を求めの人はない
現実に対して目をふさぎ 白昼夢に我身をまかせ
眠れる夜を過ぎずに 幸せつかんだ人はいない
これらすべては愛のため 大切な
友誼以上の何かを感じれば
誰もチャンスをつかもうとする
出せぬにたいつらフレンター 誰もが一皮は剥いたはず
どんなに恋した人でも 一度はひどく恋心

マントの陰に隠された恋
※遅かれ早かれ 夢はかなうもの
空に雲が舞ひぬ目もあるだろう
遅かれ早かれ何かの理由で
きつと心は大きく開く
自分のあやまちにはおぼろげ
誰も許さぬをどうはずだ
素直になれば 素直になれる

誰も一度は話しかかれた 達成できぬ夢のなめ
誰にも情はあるものさ

※リピート

ピロードと石

TERCIOPELO Y PIEDRA

君の愛と僕の愛は
微妙にすれ違っていたんだね
君はいつも身勝手な
愛を押しむらうより
もて遊んでいるみたい
約束の期日に遅れてくる君を
僕は時計をもしながら 待っているんだ
わかるかい
僕はもう
君のマリオネットでいたくない

君は柔かなくせに固く
流れるようにして、どこか味がない
僕はもう 愛の痛みや涙を
かくすことはやめた
あわれんでらおうとも
思わない
君はピロードのように石
君は水のように砂

君の愛と僕の愛は
微妙にすれ違っていたんだね
お酒のように、飲んでしまえば酔いながら
愛しあわなくても いいんだよ
沈みそうな船には
乗りたくない

君の愛と僕の愛は
微妙にすれ違っていたんだね
失いたくなかったから
君を自由にさせてきたけれど
わかるかい
僕はもう
君のマリオネットでいたくない

ベルドナメ(許しておくれ)

PERDONAME

許しておくれ
君に愛を求めすぎ
わがままばかりを言うくせに
君の気持ちを守ろうともしなかった
許しておくれ
もう愛してない、口走ったけれど
それは顔紅い愛
傷つたのは 僕の方さ

許しておくれ、許しておくれ、許しておくれ
許しておくれ、許しておくれ、許しておくれ
僕には君しか愛せない
許しておくれ
言葉で君を遠ざけても
君のいない夜
僕は君のからだを想い続ける
許しておくれ
僕は君にふさふさくはないかもしれない
君の身体からあふれる
束の魂 激しく動く
それでも僕は君を愛している
※ 許しておくれ、許しておくれ、許しておくれ
許しておくれ、許しておくれ、許しておくれ
僕には君しか愛せない
許しておくれ

許しておくれ

もう言い訳しない
僕が間違っていたんだ
許しておくれ

※リピート

白い鳩よ

PALOMA BLANCA, PALOMA MIA

飾り多すぎ 誰も言葉はかわさない
足はいつも、君の方へいつの間にか向ってる
どんなに夜が深くとも 君を語らねてしまってる
いくら夜が深くとも 君を語らねてしまおうのだ
君が無い空のままで 誰にも羨しはくはない
自分の世界に入り込み そこに誰うこの僕よ
過去の記憶をたどりつつ、そこで自分を見失う

毎ておくれ、もう一度
君はもう一度
僕に何をしてくれるのか
白い鳩よ、いつかまた
白い鳩よ、いつかまた

白い鳩よ、これから僕はどうすればいいの
凍てつく視線が僕に向けられ
君の作りわらわい、僕を浮気者だと云っている

使い古しの言葉が、ますます僕を遠いこんでいく
目を閉じて、誰か何と云おうとも
必ず君を思い出してみせる

ティ・アモ

TE AMO

君を愛す
そして君を愛す
君は僕の運命を変えた
でもそれは僕が望んだこと
君を愛す
僕の道に花は一つ
僕の道には—君という花
君という人生、そして君の心

※君のすべてを握りよう
僕よりも
人生よりも
愛よりも君を愛す
万回よりも君を愛す
それは神も感動した
運命

君を愛す
傷つけられても君を愛す
他の何より耳をかさないで
僕だけ信じてほしい

※リピート

君がどこにいても

EL AMOR DE MI VIDA

君と別れることは
死よりも怖い
君の手や指は
神聖からの
ひびき預りもつらい
忘れられない、忘れたい
僕は君だけのもの
どこへ逃げたとしても
僕の中には君がいる

君に逢ってはじめて
本当の愛を知った
君の光
僕の日は暗かれないんだ
君の笑顔、君の笑い
君の声、君の言葉に触れたとき
君の命も、君の心も
僕のものになった
君がすべて...
僕の人生をかけて
君を愛したい
そして君を信じて
どうか僕を見捨てないで
ひきまけて
そばにいてとすがりたい
どんなに君にとらわれていても
愛してはあげ
心は自由
君をしあわせにしたい
未熟な僕に...

君に逢ってはじめて、本当の愛を知った
君の光で僕の日は開かれないんだ
君のすべてに愛されたとき
君のすべてが僕ののものになった
わからん、僕
何故君を失ったのか
何故僕は、自分を見失ったのか
君は何もなかったように僕を忘れ
僕に背を向けて、生きるのだろうか

メドレー

POTPOURRI (MEDLEY)

過ぎ去りし君

ALGO DE MI

〜愛ゆえに

VIVIR ASI ES MORIR DE AMOR

〜助けて下さい

AYUDAME

〜誓い

JAMAS

〜愛することは...

AMOR, AMAR

〜全てが無敵に

TODO POR HADA

訳もないのに別れてしまふ
無意味に過ぎた、この時間...
指輪の指付けと、甘い眼と
しなやかなからだからあふれる
あの笑い声
君の名を呼ぶ
僕の心をうちのめす
想いもさへ、小さく見える

僕の何が、僕の何が
僕の何がやめてゆく
生きたいのに、生きたいのに
なぜあなたが去るのか...

いつも理性にあどむかれ
僕の心をうちのめす
愛に対しては無条件なのに
恋をしては片思い
いつも心で泣いている

がほんできない、がほんできない
いつもいつも、くちかえし
がほんできない、がほんできない
あてうま役は、うんざりだ

愛がなくて生きていけない
恋のおかけで、心はずたずた
愛のためなら命をささげる
メランコリー
愛がなくて生きていけない
愛がなくて生きていけない
あてうま役は、うんざりだ

バラのトゲを、花に変えさせたい
苦痛を愛の世界に変えさせたい
どうか助けて下さい

語りをもっているいさる、絶対に
君は僕のすべてだ
君の身体からあふれる、束の愛
いつも僕のもの、絶対に
白濁の時の、君のやさしさ
いつも僕のもの、僕だけのもの

愛しい人よ、互いに痛みを分かち合えたなら
これ以上すばらしいことはない
愛は、愛することは...

愛しい人よ、互いに痛みを分かち合えたなら
これ以上すばらしいことはない
愛は、愛するという事は...

全てが無敵に、全てが無敵に
君を追い越けた、僕の目に
残されたのは、一滴の涙
君に全てを捧げたのに
だから君をなしたのか
僕の人生は変わってしまった
全てが無敵に...

愛はきまぐれ

AMOR DE MUJER

愛はきまぐれ
それはゲームのようなもの
女性の愛はきまぐれ
貴の如く、水の如く覚める
激しく、優しく燃える
愛は僕を衝き寄せ、地に突き落とす

※"きまぐれ"は言わなくて
君を失いたくないから
"きまぐれ"は口にしないで
僕だけ愛し続けておくれ

愛はきまぐれ
人は愛ゆえに、傷つき、泣く
人の心は愛ゆえに、舞い、沈む

※リピート

カミロ・セスト

Camilo Sesto

永田文夫

Por: Fumio Nagata (crítico musical y traductor japonés)

本国スペインはもとより、ラテン・アメリカ諸国でも圧倒的な人気を博しているスパニッシュ・ポップスのシンガー・ソングライター、カミロ・セストのレーザーディスクが、いよいよ日本でも発売されることになりました。ファンの方々には、まさに待望のアルバムでしょう。この10年間に、NHKFM放送などを通じて、折りにふれて彼の歌をご紹介して来た私にとっても、こんなうれしいことはありません。スケールの大きいロマンティックなメロディ - 情熱のこもったパワーフルな歌声、そしてエキゾティシズムのただようフィーリングカミロ・セストの作り出す魅力的な音楽世界は、あらゆる女性を狂させ、すべての男性にかぎりない共感をおぼえさせることでしょう。

Finalmente está a la venta en Japón el LaserDisc de Camilo Sesto, un cantautor de pop español que goza de una popularidad abrumadora no solo en España, su país natal, sino también en los países de América Latina. Es un álbum muy esperado por los fans. Para mí, que he estado presentando sus canciones a través de las transmisiones de NHK FM durante los últimos 10 años, no podría estar más contento. Las melodías románticas a gran escala, la voz apasionada y poderosa, y el sentimiento exótico del fascinante mundo musical de Camilo Sesto volverán locas a todas las mujeres y harán que todos los hombres simpaticen con él.

フリオ・イグレシアスが大成功を収めたこともあって、近年わが国でも、スペインのポピュラー・ソングに対する関心が、にわかには高まって参りました。かつては民謡ふうの歌曲やフラメンコぐらいしか世に知られていなかったこの国の音楽も、時代とともに移り変わり、今日では、伝統の味を残しながらも、インターナショナルな流行のスタイルをとり入れた新しいタイプの歌が、広く大衆に愛されるようになりました。そして、こういったジャンルの人気歌手の中でも、歌唱力も抜群で、ソングライターとしての才能の中でも、歌唱力も抜群で、ソングライターとしての才能もゆたかな、すばらしいアーティストが、このカミロ・セストというわけです。

El éxito de Julio Iglesias también ha provocado un mayor interés por la canción popular española en Japón en los últimos años. La música del país, antes conocida sólo por sus canciones folclóricas y el flamenco, ha cambiado con el tiempo, y hoy en día los nuevos tipos de canciones, que conservan un sabor tradicional pero se han adaptado a los estilos populares internacionales, son muy apreciados por el público. La popularidad de estos géneros también ha aumentado. Entre los cantantes más populares de estos géneros se encuentra Camilo Sesto, un destacado cantante y compositor de gran talento.

彼を含めて、ラファエル、フリオ・イグレシアスの3人を、私は“スパニッシュ・ポップスのご三家”と呼んでいます。このうちラファエルは最も早く、1960年代の後半に

名を挙げ、'73年以降3度も日本公演を行ないましたが、その後はいささか低調気味でした。1968年に歌手に転向した フリオは、70年代の中ごろからめざましい進出ぶりを示し、ついに世界的なスーパースターになったのはご存じの通りです。しかし、活躍の舞台がおもに外国だったことが ハンデとなって、母国での評価は、必ずしも芳しいものばかりとはかぎりませんでした。その点、カミロ・セストはデビュー以来現在まで、スペインやラテン諸国でコンスタントな名声を保ち、実力派のナンバーワンとみなされています。これまでに発表したLPが19枚。そのそれぞれが100万枚を越すセールスを挙げて、1枚から何曲かの大ヒットが生まれ、総売り上げ枚数は全世界で2000万枚以上を突破・・・という数字が、何よりも雄弁に、彼の堅実な歩みを物語ります。策を弄せず流行におもねらず、つねに率直にありのままの自分を表現する、第一級の天才歌手と申せましょう。

Camilo, Raphael y Julio Iglesias, son los que llamo el "El Trío del Pop Español". Raphael fue el primero de ellos, se hizo un nombre en la segunda mitad de la década de 1960 y realizó tres giras en Japón a partir de 1973, tras las cuales su carrera ha quedado algo estancada. Como saben, Julio, quien se convirtió en cantante en 1968, tuvo un notable avance a mediados de los 70, convirtiéndose finalmente en una superestrella internacional. Sin embargo, su actividad se desarrolló principalmente en el extranjero, lo que supuso una desventaja, y no siempre fue bien recibido en su país de origen. Camilo Sesto, por su parte, ha mantenido una reputación constante en España y en los países latinos desde su debut y está considerado como uno de los mejores entre los mejores. Hasta la fecha ha publicado 19 LPs, cada uno de los cuales ha vendido más de un millón de copias, los mismos han dado lugar a varios grandes éxitos, con unas ventas totales de más de 20 millones de copias en todo el mundo... Estas cifras hablan más que nada de su constante y sólido progreso. Es un cantante de primera fila, un genio que se expresa con franqueza y honestidad, sin jugar a los trucos ni seguir las modas.

彼-カミロ・セストは、本名をカミロ・ブラネスといい 1946年9月16日、スペインはアリカンテ地方のアルコイというところに生まれました。小さいころはかなり腕白だったようで、2度も退校処分を受けましたが、2度とも学校のコーラスに必要という理由で復学を許されました。当時から、それほどみごとな声と歌唱力を持っていたわけです。

Su verdadero nombre, Camilo Blanes Cortés, nació el 16 de septiembre de 1946 en Alcoy, Alicante, España. Era un niño bastante rebelde y fue expulsado de la escuela en dos ocasiones, pero en ambas se le permitió volver porque se le necesitaba para el coro de la escuela. Desde entonces, tenía una voz y una capacidad de canto extraordinarias.

やがて彼は、「ロス・ダイソン」というグループに加わってマドリッドへ行き、テレビ番組に出演しました。このことが病みつきとなって、歌で身を立てようと決心し、両親を説得してマドリッドへ出て来たのは1965年10月のこと、折りしも、ラファエルがスターダムにのし上がった直後であり、フリオ・イグレシアスはまだうたっていませんでした。

Con el tiempo se unió a un grupo llamado "Los Dayson" y se fue a Madrid, donde apareció en un programa de televisión. Esto fue tan adictivo que decidió hacer una carrera como cantante y convenció a sus padres para que le dejaran trasladarse a Madrid en octubre de 1965, justo cuando Raphael estaba ascendiendo al estrellato y Julio Iglesias aún no cantaba.

マドリッドでのカミロ・セストは、まず「ロス・ボティ 「ネス」というグループに入って、ソロ・ヴォーカルを担当 しました。ここに1968年まで在籍したのち、兵役に従事。除隊後も仲間とともに、当時の人気グループ「ロス・ブリ ンコス」のヒット・ナンバーなどをうたっていました。

En Madrid, Camilo Sesto se unió por primera vez al grupo "Los Botines", donde fue solista. Permaneció en este grupo hasta 1968, cuando tuvo que ir a hacer el servicio militar. Tras su licenciamiento, siguió cantando con sus amigos, incluyendo números de éxito del entonces popular grupo "Los Brincos".

やがて1970年、チャンスが訪れます。グループ時代に知り合ったプロデューサーのファン・パルド (彼も現在シン ガー・ソングライターとして、スペイン第一級の人気を博しています)にみとめられてアリオラ・レコードと契約、そのプロデュースのもとに、ソロ歌手としての初のシングル盤がリリースされました。A面はブラームスの子守歌を パルドがアレンジしたもの、B面はカミロの自作でしたが、反響はほとんどありませんでした。

En 1970, se presentó una oportunidad. Fue descubierto por el productor Juan Pardo (que ahora es uno de los cantautores más populares de España) y fichó por Ariola Records, donde produjo y lanzó su primer sencillo como cantante solista. La cara A era un arreglo de Pardo de la Canción de cuna de Brahms, mientras que la cara B era una composición propia de Camilo, pero recibió poca respuesta.

それにもめげず、パルドは次々にカミロ・セストのレコ リードをプロデュースしました。第2弾はパルド作の「声高らかに」第3弾はカミロ作の「アイ・アイ・ロセッタ」など…。こうして、少しずつ識者の注目を集めたのち、1972年、4枚目のシングル盤として発表された「過ぎ去りし「君」がナンバーワンヒットとなり、カミロ・セストの 人気は爆発します。同年には、これを、タイトル・ナンバーにした初のLPもリリースされて、不動の名声を確立しました。以降「愛することは…」(1972年)「もっと何か が」(73年)…と、快進撃がつづきます。1974年には、「私を助けて」「あなたが私の恋人ならば」などが大ヒットして、完全にラファエルを追いおとし、ラテン・アメリカ 諸国でもトップ・スターになりました。この年、ロック オペラ「ジーザス・クライスト・スーパースター」のスペイン語盤が作られ、翌'75年の上演でも主役のキリストを 演じて、スペインのショー・ビジネス界における金字塔を 築きました。

Sin desanimarse, Pardo produjo una serie de grabaciones de Camilo Sesto. La segunda fue "Lanza tu voz" de Pardo, la tercera fue "Ay, ay Rosetta" de Camilo, y así sucesivamente. En 1972, después de haber atraído poco a poco la atención de los entendidos, la popularidad de Camilo Sesto explotó con su cuarto sencillo, el número uno "Algo de mí". Ese mismo año se publicó el primer LP con este número como título,

el cual estableció su reputación inquebrantable. Los años siguientes vieron el rápido éxito de Camilo con "Sólo un hombre" (1972), "Algo más" (1973)... y "Camilo Sesto" (1974). El éxito continuó. En 1974, con grandes éxitos como "Ayudadme" y "¿Quieres ser mi amante?", destronó por completo a Raphael y se convirtió en una estrella de primer orden también en América Latina. En 1975 se creó la versión española de la ópera rock "Jesucristo Superestrella", y en la función teatral del mismo año Camilo interpretó el papel principal, Cristo, creando así un hito en el mundo del espectáculo español.

その後カミロ・セストのめざましい活躍ぶりを、いちいちしるしてはキリがありません。ラテン・アメリカはもとより、アメリカ合衆国でも成功を収めました。'79年には全世界におけるレコード売り上げが1300万枚を超えてプラチナ・ディスクを贈られました。最近では1983年春、全米ツアーを行なって、ロサンゼルスユニバーサル・アンフィ・シアターをはじめ、すべてのコンサート会場をソールドアウトにし、フリオ・イグレシアスよりひと足先に、アメリカを征服したということです。

Desde entonces, el éxito de Camilo Sesto no ha cesado. En 1979, Camilo Sesto vendió más de 13 millones de discos en todo el mundo y recibió un disco de platino. Más recientemente, en la primavera de 1983, realizó una gira por Estados Unidos, agotando las entradas del Anfiteatro Universal de Los Ángeles y de todas las demás salas de conciertos, conquistando los Estados Unidos un paso por delante de Julio Iglesias.

そのカミロセストは、1983年の暮れ、おしのびでひょっこりと、初めて日本を訪れました。背の高いハンサムな好男子でした。これほどのビッグ・スターでありながら、いささかの気取りもなく、しっかりと自分を見つめた話し方にも、ナイーヴな人がうかがえて、まことに好ましかぎりでした。

A finales de 1983, Camilo Sesto visitó por sorpresa Japón por primera vez. Era un chico alto, guapo y bien parecido. Era una gran estrella, pero no tenía ninguna pretensión, y su forma de hablar, tan dueña de sí misma, revelaba una personalidad sencilla que me gustó mucho.

「音楽は、ぼくの人生の証明なんだ。」・・・と、彼は言います。「世界中どこへ行ってもぼくは自分自身をありのままに表現するだけ・・・。その姿勢は、成功する前も現在も変わっていない。ぼくはいつも、大地に足をつけて生きて来た。」.....と。

"La música es la prueba de mi vida", dijo. "No importa a dónde vaya en el mundo, simplemente me expreso tal como soy". Esa actitud no ha cambiado ante sin ahora. "Siempre he mantenido los pies en el suelo"... y añadió: "Mi música es una forma de expresarme".

そして、「ぼくの音楽は、ロマンティックなだけじゃなく、真実の中から生まれたストーリーをうたっている。だから、一番重要なのは、歌詞だと思う。」・・・とも
Y, "Mi música no es solo romántica, es una historia que nace de la verdad. Así que creo que lo más importante son las letras..."

「初めのころはロックもやったし、いろいろなものから影響を受けた。自分なりの新しい音楽を作り出しているつもりだが、節まわしの中にはやはり生まれ故郷アリカンテ地方のモーロふうのコブシが出て来る。それがぼくの特徴かも知れないね。」…と、気さくにヒット曲のメロディーを口ずさんでくれるカミロでした。

"Al principio, tocaba rock y estaba influenciado por muchas cosas diferentes. Trato de crear música nueva a mi manera, pero en mi escritura de versos, sigo utilizando las tonalidades de estilo moro de mi región natal de Alicante. Esa podría ser mi característica...". Camilo se mostró muy amable, tarareando las melodías de algunos de sus grandes éxitos.

Chapter / *Capítulo*

- 1 ロマンス~この愛に生きて *ACOMPÑAME*
 - 2 心が変わり *QUIEN LO DIRIA*
 - 3 夜空に願いを *MIENTRAS ME SIGAS NECESITANDO*
 - 4 サンバ *SAMBA*
 - 5 遅かれ早かれ *TARDE O TEMPRANO*
 - 6 ビロードと石 *TERCIOPELO Y PIEDRA*
 - 7 ペルドナメ (許しておくれ) *PERDONAME*
 - 8 白い鳩よ *PALOMA BLANCA, PALOMA MIA*
 - 9 ティアモ *TE AMO*
 - 10 君がどこにいても *EL AMOR DE MI VIDA*
 - 11 メドレー *POTPOURRI (MEDLEY)*
- 過ぎ去りし君 *ALGO DE MI*
~愛ゆえに *VIVIR ASI ES MORIR DE AMOR*
~助けて下さい *AYUDADME*
~誓い *JAMAS*
~愛することは… *AMOR, AMAR...*
~全てが無駄に *TODO POR NADA*
- 12 愛はきまぐれ *AMOR DE MUJER*

All songs composed by Camilo Blanes Running Time: 54min.

Todas las canciones compuestas por Camilo Blanes. Duración: 54min.

●このディスクは、チャプターサーチ操作で希望するチャプターの最初の画像を正確に呼び出すことができます。

Este disco puede utilizarse para recuperar con precisión la primera imagen del capítulo deseado mediante la operación de búsqueda de capítulos

●チャプターサーチ操作については、お手持ちのプレーヤーの取扱説明書をご参照ください。

Consulte el manual de instrucciones de su reproductor para conocer los detalles de la operación de búsqueda de capítulos

DIRECTOR: KUNIO FUJITA

CAMERA: MITSUO NAKAJIMA

V.E.: KIMIO HAYASAKA

RECORDING ENGINEER: JUNICHI SUZUKI ESTUDIOS KIRIOS, S.A.
INGENIERO DE GRABACIÓN

A.D.: TOSHIAKI ITAKO
ASISTENTE

PRODUCER: YUZO MURATA & SHUNZABURO ISHIHATA
PRODUCTORES

訳詞 6.7.10 岡田富美子 4. 5. 8. 11 齊藤光人
Traducciones 6.7.10 Fumiko Okada / 4. 5. 8. 11 Mitsuto Saito

製作/発売元・レーザーディスク株式会社 販売元・パイオニア株式会社

© 1985 LASERDISC CORPORATION MANUFACTURED BY LASERDISC CORPORATION, DISTRIBUTED BY PIONEER ELECTRONIC CORPORATION, JAPAN.

Producido/vendido por LaserDisc Co., Ltd. Distribuidor-Pioneer Corporation

© 1985 LASERDISC CORPORATION FABRICADO POR LASERDISC CORPORATION, DISTRIBUIDO POR PIONEER ELECTRONIC CORPORATION, JAPÓN.

PRINTED IN JAPAN (K)
IMPRESO EN JAPÓN (K)

Agradecimientos por el empeño, dedicación, entrega y colaboración para engrandecer la trayectoria Camilo Sesto:

- ✓ *Lucía Muñuzuri Cantarelli*
- ✓ *Carlos Genaro Torres Crisóstomo*
- ✓ *Enrique Vega Robledo*
- ✓ *Grupo "El Legado de Camilo Sesto"*

Esperamos que disfruten conocer detalles del paso de Camilo por Japón.